



手城小だより

福山市立手城小学校
2024年(令和6年)
7月23日(火)

【学校教育目標】 自他を認め合い、主体的に生きる力をもった児童の育成

着衣水泳 一あわてずに、浮いて、待つー

服のまま水に落ちたら?落ちた人を見かけたらどうしますか?

洋服を着た状態で水に落ちてしまう時は、心の準備ができていません。パニックを起こし、足がつくところでさえ気づかずに溺れてしまうこともあります。予期せぬ場面の万が一に備えて、服のまま水に入ったらどうなるかを知るために、5年生が着衣水泳の学習をしました。



着衣水泳のポイント3つ

- ① 服を着て泳ぐことの難しさを確認する
- ② 突然水に落ちた時のパニックを経験する
- ③ 上を向いて背浮きをする

空のペットボトルでどれだけ楽に浮けるか体験をしました。子供たちは、着衣のままだと泳ぎにくいことや、ペットボトルがないときは、服の中に空気を含ませると浮くことを感じる事ができたようです。

「危険」と「楽しい」が隣り合わせの海や川。それぞれの場所で決められたルールを必ず守り、水がきれいだからと遊泳禁止の場所で泳いで潮に流されてしまう、ということのないようにしましょう。

必ず保護者や大人の方と遊びに行くということも大切です。

水泳学習終わる

6月20日(木)から始まった水泳学習。

ちょうど1か月間取り組んできて、予定していた全学年の学習が終了しました。

顔付けができるようになった1年生から始まり、ふし浮き、けのび、とレベルアップしていき、6年生になるとクロールや平泳ぎで長い距離を泳げるまでに成長しました。「水泳が楽しい」と楽しさを味わうことができたのが一番の収穫でした。

体調管理や準備など、ご家庭のご協力をいただき感謝いたします。



夏休み、子どもの学び 広げたい

1学期、授業の一貫として、色んな学年が公共施設へ見学し、学ぶ機会がありました。

福山市には、広島県立歴史博物館やふくやま美術館などがあります。また、ふくやま文学館や福山市立動物園、福山市人権平和資料館などもあります。これらの施設は、学校で学べないことを新たに学べるところです。

夏休み期間に、子どもたちを対象にした企画展や行事を予定している施設もあります。そうした情報は学校からも随時クラスルームやチラシ配布などで保護者の方にお伝えしているところです。

社会科や総合的な学習の時間に見学した博物館や美術館を再び訪ねたり、教科書で知った作者の作品を美術館で鑑賞したりするのもよいでしょう。



【3年・手城交流館見学】



【4年・ふくやま美術館見学・福山市人権平和資料館副館長さんの話】



【5年リーデンローズ音楽祭参加】



【6年・広島県立歴史博物館見学・福山城見学】



地域には、手城交流館があり、住民が生涯にわたって活用することができます。

1学期には、3年生が手城交流館へ見学に行きました。これを機会にぜひ、夏休みに積極的に訪れ、有効活用したいものです。

図書館もまた、子供たちにぜひ足を運んでほしい場所です。本と出合う場でもあり、宿題に取り組む場になります。日頃の学校生活とは違ったのんびりした時の流れに身をゆだねることも貴重な体験です。

自分の関心のある分野の施設であればどこでもいいです、是非、足を運んでみてください。

他人事ではない「水難事故」水辺は大人と「徹底を」

梅雨明けをし、いよいよ夏本番です。各地で川や海で子供が亡くなる水の事故が相次いでいます。住宅街を流れる川に子どもだけで遊びにきて大人がいなかった、という事例もありました。

これから川や海でのレジャーを楽しむ機会が増える時期になりますが、「子供だけでは、絶対に水辺に近づかない、川など水に入る時は、ライフジャケットを着る、深みにはまったり、沖に流されたりしたら浮いて救助を待つ」など、ご家庭で保護者が伝えることが事故防止になります。

手城学区にも幅の狭い用水路や側溝がたくさんあります。水深が10cm程度でも、子供の身体が水をせき止めることで溺れたり、流されたりする恐れがあると言われています。

「川は急に深くなる場所がある」「海は沖合へ急激に流れる離岸流が起きることがある」などの知識も教えましょう。